

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 若狭町社会福祉協議会	代表者	会長 香川 哲夫	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・僻地診療や主治医と、細かな変化も情報共有することを心掛け、連携の充実に努めている。 ・自宅での暮らしを継続するために必要な「自分で出来ている事」を維持できるよう、その人らしさを大切にしながら見守り、必要なお手伝いのみ行う事を心掛けている。
事業所名	小規模多機能ホーム みさき	管理者	小堀 絵美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	人	1人	人	人	3人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・今季も季節ごとに「みさき通信」を発行していく。 ・毎月の内部研修に積極的に参加し、職員の資質向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「みさき介護通信」で旬の介護情報をご家族にお届けした。 ・外部研修に積極的に参加し、情報を持ち帰り内部研修に活かすことが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みさき通信を通してお出掛けの様子などを情報発信されているが、一部の利用者家族からアンケートを通して、「施設内にやや閉じ込めている」と回答があったことが気になった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も季節ごとに「みさき介護通信」を発行していく。その中でみさきのアピールに繋がることも掲載し、地域の方にも興味を持ってもらう。 ・毎月の内部研修に加え、外部研修にも積極的に参加し、職員の資質向上に努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方に声掛けをしての「介護教室」や、みさきでの出張散髪時に利用者以外の方も送迎し、訪ねやすい事業所として印象を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に立ち寄れる事業所と謳っているが、現実はなかなか気軽に足を運んでももらえない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを参考に評価することが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方も交えたイベントを考案・開催し、気軽に足を運んでもらえるよう努める。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に開けた施設として、気軽に福祉に関する相談等をしていただく。 ・送迎時に地域の方に積極的に声掛けする。 ・今後も「みさき通信」を全戸配布し、みさきでの利用者様の生活の様子や、相談窓口としての機能を発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・僻地診療後の薬の配達等を通して地域の高齢者の生活のお手伝いをさせてもらう事が出来た。 ・立地条件や感染症予防の為、地域の方がみさきへ遊びに来られることはほとんどなかったが、「干物作り」では1名の地域の方がお手伝いに来て下さった。「家族介護教室」では数名の方が参加して下さり、教室を通して交流が図れた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みさきを利用していない方はみさきに来てはいけなと感じているところもあるかもしれない。ボランティア活動等が知られていないように思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々が訪れやすい雰囲気作りを心掛け、開けた事業所を目指す。 ・「みさき通信」や「インスタグラム」などを活用し、みさきでの活動や相談窓口として情報発信に力を入れる。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、ひとり一人の希望に合わせた少人数での外出レクリエーションを行ない生きがいに繋げていく。 ・運営推進委員様や、地域の方の力も借りながら、利用者様の生きがいに繋がるように出来るように支援していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを取り、個々の希望に応じてレクリエーションを開催できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一部の利用者家族の方には、地域に出向いて本人の暮らしを支えるという事に関して、活動内容が伝わっていないようだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域が開催するイベント等に参加し、1人の地域の住民として交流を図ってもらえるような機会を作る。 ・ボランティアさんや運営推進委員さんのお力もお借りしながら、開かれた事業所を目指す。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進委員の方に積極的にイベントや行事のお知らせをし、足を運んでいただく機会をふやす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「家族介護教室」を2回開催し、簡単な体操教室に運営推進委員さんにも参加していただけた。 ・利用者や家族にアンケートを取る事をアドバイスいただき、サービスを利用する中で感じている率直な意見を聞くことが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員などの役を引き受ける立場になるまでみさきはどのような場所か深く考えなかった。 ・地域の方で気になる方には声を掛ける機会が増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進委員の方に積極的にイベントや行事のお知らせをし、足を運んでいただく機会をふやす。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時にスムーズに対応できるように地域での避難訓練に参加し、防災対策や災害時の対応について日頃から職員同士で話し合っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害警戒区域に指定されている為、災害時の対応について内部ミーティングの時間を使い確認することが出来た。 ・地域の避難訓練には一部の利用者が見学のみ参加となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いざ災害が起きると怖い。道路が土砂災害の危険がある。 ・来年機会があれば、地域の避難訓練に参加したいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・BCP計画（自然災害発生時における事業継続計画）に基づき、研修や訓練を定期的に行い、防災の意識を高めておく。